

みなさん、こんにちは。副住職の大江英崇です。

今月、11月は、みんなで、牛乳パック灯籠(とうろう)づくりをします。これを書いているのは、実際に作る前なのでどんなものになるのか、楽しみにしているところです。

この灯籠を大晦日の12月31日にする鐘つき(除夜会)で使用したいと思います。子ども達が作った灯籠で、境内または、賢明寺周辺のライトアップを計画しています。ぜひ、作品を見に来るついでに、お寺参り、除夜の鐘つきをされて下さい。時間は例年ですと、23時から始めます。

除夜の鐘という話が出ましたので、今回はこのお話を。

みなさんもお存じの通り、仏教では108の煩惱ということをいいます。煩惱とは簡単に言うと「欲」です。「～したい、～になりたい」という思いです。それを、消すために、大晦日、108回鐘をつく。といわれています。

しかし、それをしたことで、本当に、煩惱が消えるのでしょうか？

大晦日から、元旦にかけて、二年参りと言って、鐘をつき終わるとそのまま、神社に行かれる方が多いようです。そして、たいていの場合、神様にお願いごとをします。

しかし、それは言ってみれば、もうすでに「欲」が出てきているということではないでしょうか？

考えてみれば、12月31日に煩惱を消す行動をして、そして、数時間後の1月1日には神社でお願いごとをしている。なんとも、おもしろい状況だと思います。

この、欲、「煩惱」によって苦しめられていくのが私たちです。「～したい、けどできない。」「～になりたいけど、なれない。」現実とのギャップによって、苦しんでいくのです。そうと聞いても抑えられないのが私たちです。

ですから、「煩惱を消す」ということではなく、「煩惱は消せないものなのだ」ということを、受け止めていくということが、大晦日の「除夜会」の意味ではないかと思うのであります。



また、お寺の方で、来週、11月16日(日)に「お寺カフェ」をします。気になる方はぜひ、のぞきにきてくださいね。